

葦建収第 563 号の2  
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 殿

葦崎市長 横 内 公 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

## 今後の道路行政についての意見・提案

様式①

### ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県韮崎市

地方自治体を取り巻く社会経済情勢の変化は著しく、少子高齢化や高度情報化の進展、更に環境への意識の高まりなど多様化する市民ニーズや地方分権へ対応する中で、行政運営は困難を極めている。

また、原油価格・諸物価の高騰などによる市民生活への影響が懸念されており、本市の財政状況は法人市民税をはじめとする市税の減収、地方交付税の抑制、国庫補助負担金の削減、税源移譲による一般税源化など、将来的な懸念材料を数多く抱えている。このような中で、市民の自動車交通に対する依存度が高いにもかかわらず、道路整備は依然として立ち遅れており、厳しい財政状況のもと、これまで道路特定財源に加え多額の一般財源を充当し、防災対策、通学路の整備、更には救急医療など市民生活に密接に関わる道路の整備を実施している現状である。

こうした経済情勢の中で、国において、来年度から道路特定財源を一般財源化を閣議決定したところであるが、地方自治体のみならず、地方住民に大きな不安材料を与えるものである。更に立ち遅れている地方の道路整備は、日常生活における安全・安心、企業誘致等をはじめ、地域活性化にとって必要不可欠であり、地方の道路整備の重要性を十分認識され、財源確保に一層の拡充を実施されるよう強く要請する。

## 今後の道路行政についての意見・提案

### ②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

山梨県韮崎市

#### ○ 現状

市を縦断する国道20号を軸に、ハヶ岳方面への国道141号、静岡方面への国道52号を骨格とした南北に強い道路網が形成され、更に広域幹線道路として本市の東部を縦断する中央自動車道があり、韮崎ICを介して首都圏方面と長野方面を結んでいる他、中部横断自動車道、新山梨環状道路、西関東連絡道路をはじめ、今後の本市を支える基軸となる道路ネットワーク化の構築を推進している。一方、橋梁や道路施設の老朽化が進み、その維持管理費は年々増加している現状である。

#### ○ 課題

・ 峡北圏域と甲府圏域を結ぶ国道20号や韮崎ICと市街地を結ぶ道路は慢性的な渋滞が発生し、特に国道20号に接続する橋梁部で著しい交通渋滞が見られ、韮崎市西部と北部地域の移動に時間を要している。さらに甲府方面への交通需要が多く、隣接する地域との移動にも時間を要している状況である。

このため、市内の移動を容易にするとともに、隣接する地域との連携強化を図るための骨格となる幹線道路の強化をはかり、居住環境の根幹となる道路網の整備が喫緊の課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

山梨県韮崎市

②－２ 地域の目指すべき将来像

快適な生活を支える都市基盤の整備

快適で潤いのある生活環境の整備を進め、住みよい都市の実現を目指し、また、本市を代表する景観の一つとして道路景観に重点を置いた中心市街地の街並み整備を推進して市全体の魅力を高める。

地域活力の向上

安全で快適な居住環境の整備を見据え、基幹となる道路の整備

工業拠点及び新産業拠点エリア周辺のアクセス道路の整備促進

中心市街地の電線の地中化と良好な道路空間の確保等の快適な都市居住環境の創出  
慢性的な渋滞箇所の解消

国道２０号の慢性的な交通渋滞の解消に向けた４車線化や交差点改修整備の促進  
市町村合併後の地域の連携強化

峡北圏域と甲府圏域を結ぶバイパス等の広域道路の整備促進

歩行者の安全確保

通学児童等の安全性の確保のための歩道の整備促進

## ③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する成果や評価等）

山梨県韮崎市

| ○ 重点事項           | ○ 代表事例                                         | ○ 期待する効果や評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 地域活力の向上        | 1 県道韮崎昇仙峡線をはじめとした企業誘致のための開発道路の整備（穂坂町地内）        | ・ 広域交通網の機能の強化を図ることにより、慢性的な交通の解消はもとより、地域の活力を高める産業振興が可能となり、雇用の増加も期待される。また、移動時間が短縮され、通勤エリアが拡大することにより人口の増加にも資する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                  | 2 旧塩川橋付近から主要地方道韮崎昇仙峡線穂坂橋西詰交差点間に新規道路の整備         | ・ 韮崎駅前の大規模商業施設の開発に伴い中心市街地の移動を容易にするためだけでなく、幹線道路の新設によって、災害時の迂回路が多く選択でき安全性も向上する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                  | 3 JR駅前周辺の県道韮崎昇仙峡線の歩道のフラット化と電線の地中化の整備（本町通り線実施済） | ・ 中心市街地における歩道のフラット化と電柱地中化の整備により、歩行者の利便性の向上と快適な道路景観形成が図られ、潤いのまちづくりに貢献する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                  | 4 県道甘利山公園線の部分改修の整備                             | ・ 観光道路に十分対応できる道路網の整備により、観光振興など地域活性化に資する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                  | 5 まちづくり交付金事業（若尾地区）                             | ・ 地方の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくり政策における地域住民の生活の向上、地域経済の活性化を図る制度であり、今後も事業導入に向けて検討中である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| ・ 慢性的な渋滞箇所の解消    | 1 国道20号の慢性的渋滞の解消                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 韮崎市の都市拠点エリアは国道20号（釜無川左岸）国道52号、国道141号、県道韮崎昇仙峡線等の主要道路が交差する中で、将来の発展を予測しながら、秩序ある市街地の形成を図るためは、慢性的な渋滞解消は最重要課題である。</li> <li>・ 国道20号の県道交差点の2箇所（舟山橋、七里岩トンネル）については慢性的な渋滞に悩まされおり、特に通勤時間帯に長期渋滞は経済的損失で、七里岩交差点までの完全4車線化、新韮崎バイパスや交差点改修など、長年から本市の最重要要望である。</li> <li>・ 舟山橋交差点は市内での事故多発交差点で、交差点改良が求められているが、地形形成上困難であり、河川側への拡幅と堤防補強が強く要望されている。</li> <li>・ 地場産業の拡充や雇用の安定、更に通勤エリアの拡大を図ることにより、定住人口の増加に資する。</li> </ul> |
|                  |                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ・ 市町村合併後の地域の連携強化 | 1 市道竜岡18号堀切橋架替え整備                              | ・ 御勅使川の下流に架かる堀切橋は企業立地と新興住宅開発と共に年々交通量の増加する中で、韮崎市と南アルプス市との広域的な交通、産業連携・交流機能等の重要拠点であり、これらを整備することにより、地域産業の発展に資する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                  |                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ・ 歩行者の安全確保       | 1 県道北原下条南割線の歩道設置（大草町地内）                        | ・ 歩道整備を行うことにより、通学児童等の安全性が向上し、安心して暮らせるまちづくりに貢献する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                  | 2 県道韮崎南アルプス中央線の歩道設置（円野・清哲町地内）                  | ・ 歩道整備を行うことにより、歩行者の安全性が向上し、安心して暮らせるまちづくりに貢献する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |